

英語 A (English IV A)

担当教員名	梶本 浩美	
学科・専攻、科目詳細	電気情報工学科 情報工学コース 4年 前期 1単位 講義	
学科のカリキュラム表	一般科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	教養科目 外国語系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-2(15%) B-1(25%) E-2(60%)
	JABEE基準1(1)	(a)(f)
科目的概要	<p>精読、速読を行うことでリーディング力の向上を狙い、映画で使われるセリフを通してリスニング力の養成もはかるとする。また英語圏文化の特徴についても知識吸収を行い、映画で使われる英語表現からこれまで習った英文法が実際の場面ではどのように使われているかを学ぶ。知識としての文法を使える文法へと昇華させるため英語による発話活動も積極的に取り入れる。</p>	
テキスト(参考文献)	<p>(1) 梶本浩美、濱田真由美「English Grammar in Focus: Expanded Edition」:マクミランランゲージハウス (2) 刀祢雅彦「システム英単語」(3年次より継続使用):駿台文庫</p>	
履修上の注意	授業中の私語、居眠り、忘れ物、予習の不徹底、携帯電話の使用などは欠席扱いとみなす。欠席過多、試験未受験など明らかな棄権行為が原因で成績不振に陥った場合、原則として再試験や学力補充は行わない。	
科目的達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実映像を含む視覚教材を通して英語圏文化に対する理解を深める。 (学習教育目標:A-2,B-1) ・英文リーディング、リスニングを通して語学力増強および基礎的なコミュニケーションの能力養成を目指す。 (学習教育目標:E-2) 	
自己学習	<ul style="list-style-type: none"> ・重要語句を事前に調べ、教科書の予習箇所を完全に終えておくこと。 ・システム英単語の語彙を完全に自分のものとするよう音声CDも活用し学習すること。 	
目標達成度(成績) の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/4以上の欠課
	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験(50%)、クイズ(50%) ・定期試験は教科書の内容の理解度を問う設問を提示する。 ・クイズは3年次から使用しているシステム英単語からの語彙テストで、半期で10回行なう。 ・授業参加度として1回の欠席につきマイナス1点、遅刻2回で欠席1回の扱いとする。総合評価として60%以上達成した者を合格とする。 	
連絡先	akimoto@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週 授業概要説明	授業で行う内容、課題、評価方法などの説明を行い、授業進度予定表(シラバスの詳細版)を配布する。
第2週 映像で学ぶ英語圏文化(1)	テキストで取り扱う映画を視聴し、英米文化に触れると共に次週以降の準備を行う。
第3週 教科書 Unit 1およびクイズ(1)	推測と可能性の could を取り上げ、不確定なものについての曖昧表現を学ぶ。
第4週 教科書 Unit 2およびクイズ(2)	Would で始まる丁寧表現を通して、リクエストの仕方に触れる。
第5週 教科書 Unit 3およびクイズ(3)	仮定法過去を実際の会話の中で使えるようにする。
第6週 教科書 Unit 4およびクイズ(4)	現在完了形を実際の会話の中で使えるようにする。
第7週 レビューとクイズ(5)	これまでの授業の復習を行う。
第8週 後期中間試験	後期中間試験を実施する。
第9週 後期中間試験返却および映像で学ぶ英語圏文化(2)	後期中間試験を返却し解説を加える。英語圏文化を扱った映像を通して、異文化コミュニケーションについて学ぶ。
第10週 教科書 Unit 5	仮定法過去完了を実際の会話の中で使えるようにする。
第11週 教科書 Unit 6およびクイズ(6)	関係代名詞を実際の会話の中で使えるようにする。
第12週 映像で学ぶ英語圏文化(3)	英語圏文化を扱った映像を通して、異文化コミュニケーションについて学ぶ。
第13週 教科書 Unit 7およびクイズ(8)	疑問詞 to不定詞のバリエーションについて学習しする。
第14週 教科書 Unit 8およびクイズ(9)	比較表現を実際の会話の中で使えるようにする。
第15週 レビューとクイズ(10)	これまでの授業の復習を行う。
期末試験	